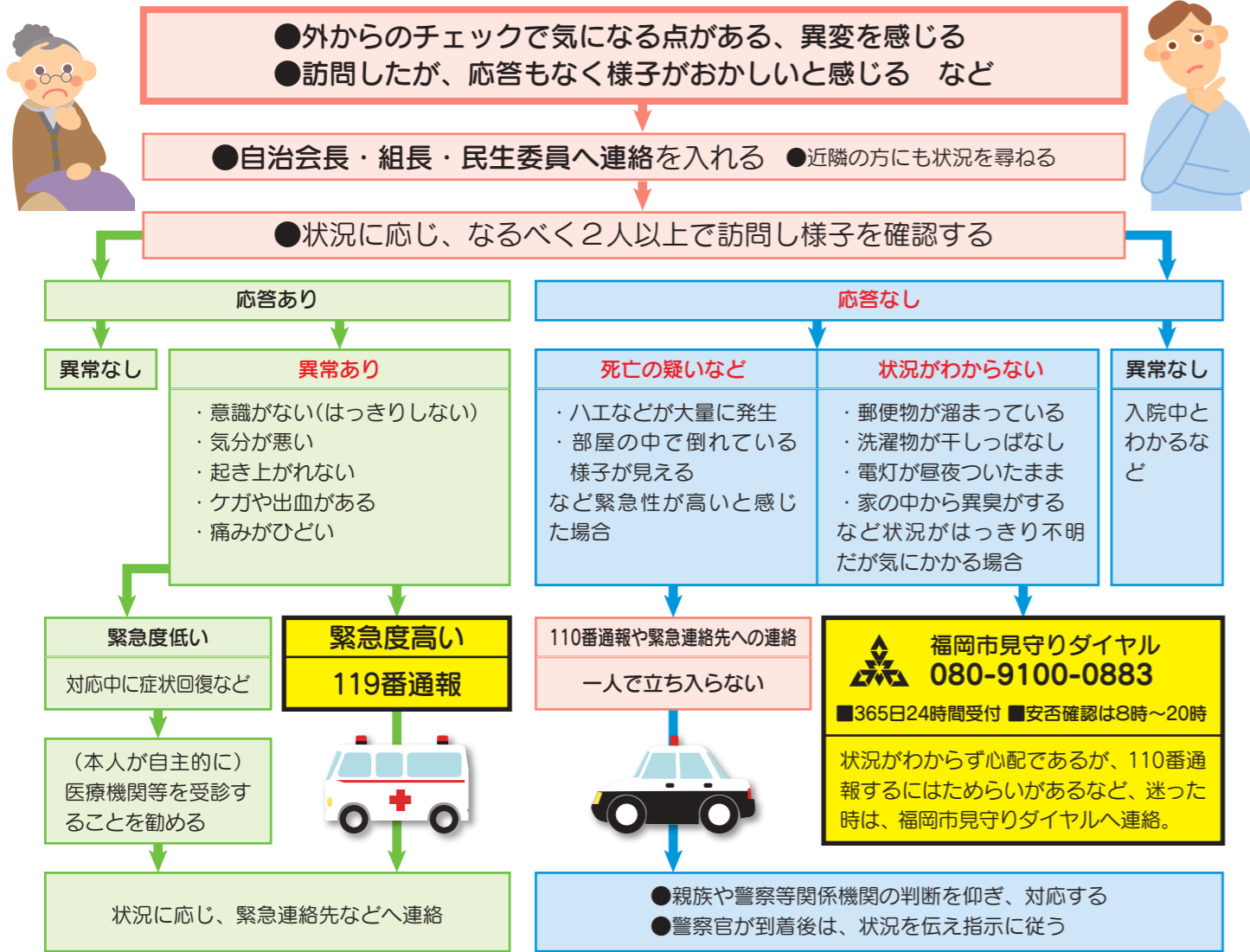


# 異変に気づいた時の安否確認フローチャート（例）

あくまで一例です。お住まいの校区や町内の状況などに合わせてご対応ください。

## 緊急時の対応手順

対応した内容や時刻等を記録・メモに残しておきましょう。



☆緊急時には複数人で、臨機応変に対応しましょう。（決して一人では対応しない。）  
 ☆状況により警察の事情聴取に応じるなど、必要なことには協力しましょう。  
 ☆警察もすぐに家の中へ立ち入るとは限りません。家の中の状況が全くわからない場合や親族等の同意がない場合などは、警察も慎重な対応をすることがあります。

### 緊急時や異変を感じた時の連絡先

自治会長：	☎
民生委員：	☎

※まず自治会長、民生委員などへ連絡し、そこから必要な関係機関・親族等の緊急連絡先等へ連絡をとりましょう。

### 高齢者に関する相談窓口

（ ）第（ ）いきいきセンターふくおか  
☎ - （月～土 9時～17時）

### その他見守り等についての問い合わせ

（ ）区社会福祉協議会  
☎ - （平日 9時～17時30分）

### 福岡市見守りダイヤル（福岡市の取り組み）

地域の住民の方などが、孤立死の疑われる住民の異変に気づいた場合に、その通報を受け、必要に応じて安否確認を行う。※警察、消防案件は除く

#### 注意点

- ・地域の見守り活動の中で、孤立死などの対応を関係機関（住宅供給公社、社会福祉協議会等）とルール化していれば、そちらを優先して下さい。
- ・電話番号は通知でかけてください。不在着信の場合はすぐに折り返し電話します。
- ・現在「見守りダイヤル」は市内に1か所の設置のため、現地に到着するまで、時間がかかる場合があります。

関係機関	警察	110番	( )警察署	092-	-
	救急・消防	119番	( )交番	092-	-

# 私たちの地域から“孤立死”をなくすために

～自分自身や地域でできることは～

周囲との関わりがなく孤立し、自宅で亡くなっても誰にも気づかれず、しばらく発見されないような死を「孤立死」といいます。

単身世帯が増え、ご近所付き合いや向こう三軒両隣の関係も薄れてきている今日、「孤立死」は私たちの身近な地域でも実際に起きており、決して他人事ではありません。



「孤立死」のリスクは、一人ひとりの努力で減らすことができます。たとえば、自分自身が孤立しないよう日頃から近所や友人と交流を持つておくことはもちろん、隣近所の人を日頃から気にかけることによって、異変に気づいて命を救うことや、早い段階で発見すること（人としての尊厳を傷つけるような悲惨な状態の死を防ぐこと）につながります。

このパンフレットは、「孤立死」をなくすために“自分自身”、そして“地域”でできることについてまとめたものです。これをヒントにして一人ひとりができることから実践し、地域全体で孤立死防止に取り組みましょう。

## 1. 自分自身でできること（自助）

～あなたが“もしも”の時、誰かが気づいてくれますか？～

家に一人でいるときに急に倒れた場合などに、誰かが「おかしい」と気付いてくれるよう、**周囲とのつながりをつくっておくこと**が大切です。人付き合いを面倒に感じることもあるかもしれませんが、**日頃からあなたの様子を知っている人をつくっておくこと**が、あなたの命をつなぐ第一歩になるかもしれません。



隣近所の住民との挨拶を心がけて、自分を意識してくれる人を増やしましょう



地域の行事や公民館の活動に積極的に参加して、地域住民とのつながりを持っておきましょう

あなたの住む地域で見守り活動が行われている場合は、**自分から「私を見守ってほしい」と声をあげることも**、できることの一つです。また、**地域で行われている行事や活動に参加すること**も、周囲とのつながりをつくるきっかけになるでしょう。

どうすればよいかわからない場合は、地域の民生委員さんや自治会長・町内会長さん、公民館などに相談してみましょう。

## 2. 地域でできること(共助)

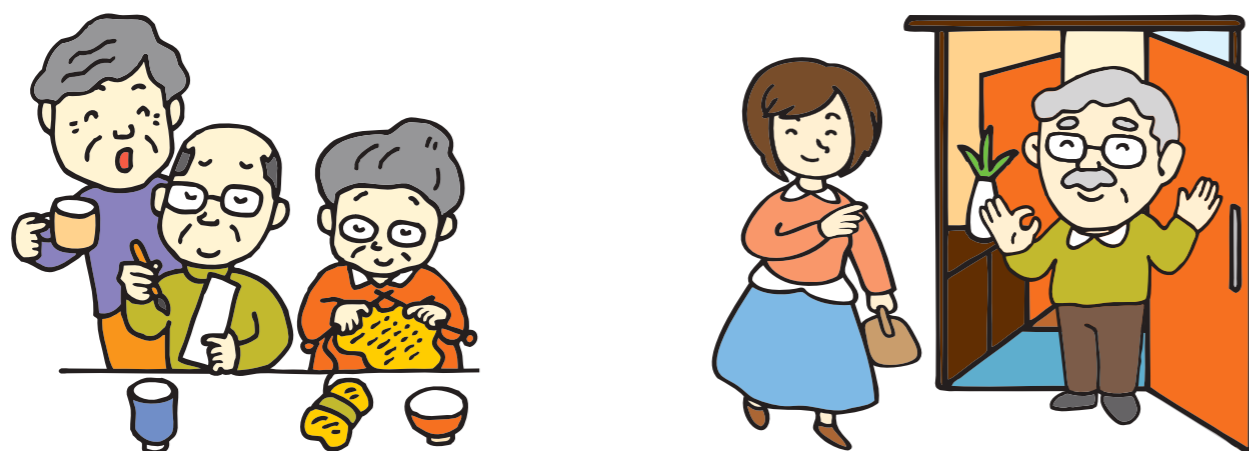
～人と人とのつながりをつくる地域の活動があることをご存じですか？～

同じ地域に住む人同士で、お互いに顔の見える関係ができることは、日々の暮らしの中の様々な安心につながります。

高齢者の孤立・閉じこもりを防止するために開催している「ふれあいサロン」や住民の誰もが気軽に参加できる「地域カフェ」などでは、交流を通して知り合いや仲間ができ、日頃から気にかけて声かけ合うような関係がうまれています。

また、「ふれあいネットワーク」での定期的な見守りやご近所同士での見守りは、身近な地域だからこそできる活動であり、高齢者等の日頃からの様子を把握するうえで、大切な活動です。

(※下記「まめちしき」や右ページ「あなたにもできる見守りのポイント」参照)



公民館や集会所など、身近な地域で集いや交流の場を開催することは、つながりづくりや安否確認にも役立ちます。

見守り活動で定期的に訪問することで安否を確認できるだけでなく、ちょっとした体調変化にも気づくことができます。

## まめちしき



### ●地域での「見守り」の取り組み

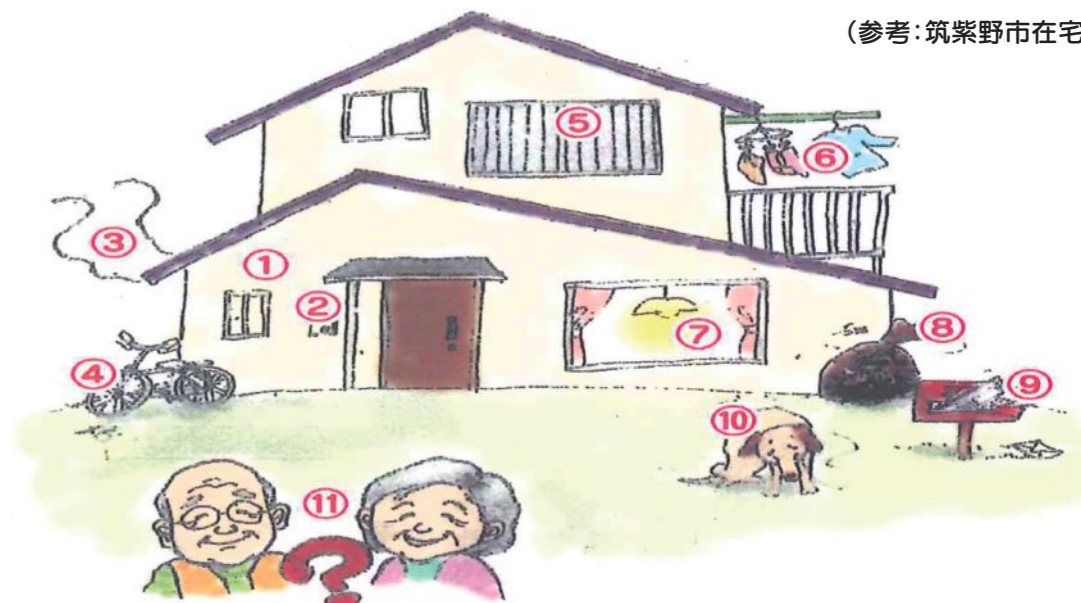
福岡市では、校区の社会福祉協議会を中心に「ふれあいネットワーク」という見守り活動に取り組んでいます（H27年12月現在135校区で活動実施）。

「ふれあいネットワーク」とは、地域住民（ボランティア）や地域団体、関係機関が連携し、支援を必要とする高齢者や障がい者、子育て家庭などを対象に、見守りや声かけ、定期訪問などを行い、支え合う活動です。

見守りによって安否を確認する活動の中では、「ちょっとした困りごとの相談」や「ゴミ出しなどのちょっとしたお手伝い」も行われています。

## あなたにもできる見守りのポイント

(参考:筑紫野市在宅介護者の会)



戸建て住宅編

- ①電話…全く応答がない、つながらない
- ②玄関のベル…鳴らしても応答がない
- ③異臭…家から臭いがする
- ④自転車や車…いつもは出かける時間にそのまま置いてある
- ⑤雨戸・窓・カーテン…何日も開けばなしまたは閉じっぱなし
- ⑥洗濯物…干しっぱなし
- ⑦電気…昼間につけばなしまたは夜に付いていない
- ⑧ゴミ…決まった日に出しているのに出していない
- ⑨新聞・郵便・牛乳etc. …何日もたまっている
- ⑩飼い犬…しきりに吠えている、衰弱している
- ⑪最近姿を見かけない…親しい人へ留守(旅行や入院など)の連絡もない、会社や会合に連絡もなく休んでいる、約束に必ず来る人が来ない、行きつけの店で姿を見かけない…など

集合住宅編

(参考:城浜校区見守りマニュアル)

